

NO. 5	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	2	新井田 昭 男	
<p>1. 地域包括ケア事業での「サロン」について</p> <p>平成24年より泉沢地区がモデルとなり、ピンコロ体操を実施しています。その後、再度泉沢地区がモデル地区となり、平成26年より「泉沢サロン」を開催し、現在に至っています。</p> <p>泉沢地区では、婦人消防隊員の皆さんの惜しみない協力体制の中で、年ごとに参加者も多くなり、ことしは47名の参加者があり私もその一員でした。食事的な内容でしたが、食事の中で話が弾み、高齢者の皆さんは大変満足げな様子でした。</p> <p>国による在宅介護の奨励が問われている中、我が町も地域包括センター職員の皆さんが知恵を絞り、各町内の状況を踏まえながら包括ケア事業を展開していますが、今後、より一層の鋭意努力を期待したいと思っています。</p> <p>そこで、今後の「サロン」事業について、下記の3点について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 「サロン」の目的については概ね理解をしておりますが、平成27年度予算を見るとケア事業費のふれあい農園等の事業で約885万円。そのうち、「サロン」に係わる事業費が約20万円程度となっております。概ね、需用費になってはいますが、その内容と今後の開催にあたり、開催地区への補助金等の支援をする考えはありませんか。</p> <p>(2) 地域包括支援センター職員の皆様には各事業展開の中、指導や企画立案等では大変お世話になっているところでありますが、この度の「泉沢サロン」では担当職員の挨拶後に、早々の退席で個人的には違和感を感じております。本来、今後に向けた事業展開の改善や指導の立場にいる職員が、開催後不在となることは、投げやり感を感じます。最終的には、地域独自で活動する方向性はあるものの、今後の対応はどうしていくのか。</p> <p>(3) 全てを地域で対応することには限度がありますが、参加者の多くの高齢者の皆さんは、今後の開催にも期待をよせていると聞いております。このような状況の中、行政サービスとして車による移動手段を考えていただきたい。</p>			町 長